

祈りの言葉

本日、ここエコパーク水俣親水緑地において水俣病犠牲者慰霊式が執り行われるにあたり、謹んで犠牲となられました全ての御霊のご冥福をお祈り申し上げますと共に、ご遺族の皆様方に対しまして心より哀悼の意を表します。

当社は、ここ水俣の地で1908年に操業を開始して以来、地域の発展を担う一員として水俣市民の皆様はもちろん、近隣市町村の皆様、そして官公庁関連の皆様のご支援ご協力のもと企業活動を営んでまいりました。

皆様のお陰を持ちまして、当社は今年で118年の歴史を刻むことが出来ました。この歴史において有機水銀化合物を含む工場廃水を排出したことで健康被害を惹き起こし、多くの方々が犠牲になりましたこと、また、周辺地域の皆様に多大なご迷惑をおかけしてしまったことは痛恨の極みであります。

この過ちを深く反省すると共に改めて心からお詫び申し上げます。

当社は、この反省の上に立ち、同じ過ちは二度と繰り返さないことを強く心に誓うと共に、患者の皆様に対する補償責任の完遂を経営の至上命題に掲げ、各方面の皆様からのご支援に助けられながらも、今日まで全従業員一丸となって、この命題に取り組み、補償責任と環境対応を全うすべく懸命に努力を重ねているところでございます。

当社は現在、九州管内に合計13か所の水力発電所を運営しており、水俣製造所だけでなく水俣市内の関係会社、そして水俣市役所や水俣市内の小中学校、図書館や公民館など、多くの公共施設でもこの再生可能電力を活用いただいております。官民連携してカーボンニュートラルの実現に取り組んでおります。

また、水俣製造所では省力化や環境負荷低減に寄与する機能性肥料をはじめ、医療分野で活用されているライフケミカル製品、さらには半導体分野で用いられる高機能製品など、様々な社会課題の解決に役立つ製品の開発と生産を行っており、水俣製造所の重要性はますます高まっております。

今後も当社グループの力を結集して、社会課題の解決に邁進していくことで経営基盤を安定化させると同時に、世界中の研究機関やお客様と連携して、将来の課題への準備を進め、安全で豊かな社会の実現に貢献してまいります。そして、今日までご支援いただいている関係機関の皆様の施策にも協力させていただきながら、患者の皆様が安心して暮らすことができる環境を維持し、

地域社会の発展に貢献していく所存でございます。

最後に、改めて犠牲となられました全ての御霊が安らかでありますように、そして、これからも各方面の皆様から頂戴したご支援にお応えし、当社の責務を果たすべく、一層の経営努力を重ねてまいりますことをここにお誓いして、祈りの言葉といたします。

令和8年 5月 1日

チツソ株式会社 代表取締役社長 山田 敬三